

3 「復興・防災マップ」の取組

実践協力校：石巻市立向陽小学校

石巻市立雄勝小学校

石巻市立石巻中学校



復興・防災マップの取組

石巻市立向陽小学校

- 1 ねらい
 - ・マップ作りを通して、地域の中で安全に生活できるようにする。
 - ・マップづくりを通して、向陽小学校区のよさと魅力を再発見する。
- 2 テーマ
 - ・防災について考えよう
- 3 指導時数
 - ・30時間
- 4 指導の流れ
 - ・指導計画

月	時数	主な学習活動	
5月	1	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のねらいや活動について知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ねらいについて確認する ○ 活動計画について確認する ○ 復興防災マップの概要を知る
6月	2	<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺構門脇小学校に見学に行く  <p style="text-align: center;">門脇小学校の見学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災の被害状況について知る ○ 東日本大震災からの避難について知る ○ 東日本大震災について学んだことをもとにこれからの生活に生かせることを考える  <p style="text-align: center;">グループで役割分担をしている様子</p>
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・震災遺構門脇小学校に見学に行ったことを新聞にまとめ、読み合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 震災遺構門脇小学校見学で学んだことを新聞にまとめる ・驚いたこと ・初めて知ったこと ・これからの生活で生かしたいこと ○ 新聞を互いに読み合う
9月	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図の読み取り ※社会科 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地形の起伏について知る ○ 地形について分かったことをまとめる
	(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・地形図の読み取り ※社会科 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地形図から起こりうる災害について知る ○ 起こりうる災害について分かったことをまとめる
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・向陽地区の歴史を知る方からの講話  <p style="text-align: center;">向陽学区の歴史についての講話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 向陽地区でこれまでにあった災害について知る ○ 向陽地区にある防災設備について知る ○ 向陽地区にある魅力について知る  <p style="text-align: center;">地域の方から、マップを見た感想を聞いている所</p>
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災当時の向陽小学校の状況を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 東日本大震災当時の学校の様子を知る ・向陽地区付近の被害の様子 ・向陽小で開設した避難所の様子
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・講話内容の振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講話の内容から学んだことを振り返る
10 ・ 11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・町歩き計画を立てる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グループ分け ○ 地区の確認 ○ 町歩きで探すものの確認

10 ・ 11 月	3	・町歩きをする（班） 	○ わかば地区、境谷地地区、浜江場地区に分かれて町歩きして気付いたことをメモする ○ 振り返りを行う 
		町歩きで北上川の水位を確認している所	学習参観日で、保護者に発表している様子
	10	・復興防災マップにまとめる	○ まとめ方を確認する ○ 復興防災マップを作る
	3	・復興防災マップの発表の準備	○ 発表練習を行う ○ 発表リハーサルをする
12 月	1	・復興防災マップの発表	○ 児童同士で発表会を行う
	1	・復興防災マップの発表	○ 参観日に保護者に向けて発表会を行う
	1	・振り返り	○ 復興防災マップ作りから学んだことを振り返る

・教員間で確認したこと

- ① マップを完成させるまでの流れを確認し、上記のような日程で活動を設定した。
- ② 防災や向陽地区に関する知識を身に付けさせるために震災遺構門脇小学校に行ったり地域のことに詳しい方から講話をしていただいたりすることにした。
- ③ 学区を4つの地区に分けて「安全」「危険」「自慢」な所を見つけさせることにした。
- ④ 町歩きのルートを児童に決めさせた後、教員が実際にそのルートに行き、「安全」「危険」「自慢」な施設や設備等があるかどうか確認した。
- ⑤ マップまとめ方と使用する用品の確認をした。

→【まとめ方】

4つの地区を1枚ずつの地図にまとめること、役割を細かく決めて各地区のメンバー全員で仕事が分担できるようにすること、地区ごとにCMを作成してQRコードで紹介できるようにすること。

→【用品】

地図は「MEET 門脇」さんからいただいたA0サイズのもの、地図の台紙として色画用紙、見つけてきた「安全」「危険」「自慢」な施設や設備等を地図上に表すためのシールと写真。

5 成果

- 山形大学客員研究員の村山良之先生の助言を受けて、向陽小学区の地形やマップのつくり方について理解することができた。
- 事前学習として、門脇小学校への見学や地形図の読み取り、地域の方からの講話を行ったことで、町歩きを行う際に危険個所や場所に気が付くことができた。
- 一人一人に役割があったため、協力して進めることや責任感を持って取り組むことの大切さや難しさを実感し、これからの活動でも生かしていきたいという思いをもつ児童が増えた。
- 様々な方々と関わってマップを作成したため、地域の方や保護者などに支えられていることに気が付くことができた。
- 向陽小学校区のよさに気が付くことができただけでなく、改善していきたいことも見つけることができ、自分たちで向陽小学校区をよくしていきたいという思いを持つ児童が増えた。
- 児童同士で作品を発表し合うことで、各地域のことを詳しく知ることができた。

6 課題

- ▲1グループ10名程度のグループでマップ作りを行ったが、人数が多く役割分担をするのに難しさを感じたため、1グループ4～5人程度が適切になると思った。また、町歩きする地区もより細かく分ける必要があると感じた。
- ▲協力したり役割分担したりしながら活動することを重点に置いた活動を行ったが、児童がより主体的に活動できるような課題設定を行っていく必要があると感じた。
- ▲文章を書いたり、使用する写真を選んだりするのに時間がかかってしまい、事前に計画していた時数を超過してしまうことがあったため、教師が見通しをしっかりとって計画する必要があると感じた。

復興・防災マップの取組

石巻市立雄勝小学校

- 1 ねらい
 - ① 雄勝地区を調べる活動「まち歩き」を通して、東日本大震災における地震と津波の影響から復興している今の様子をマップに残す。
 - ② 人口が激減したにも関わらず、町を残すために、復興活動に取り組んでいる住人の思いや活動に触れたり、地域の植栽活動に参加したりする活動を通して、雄勝に愛着をもち、雄勝の未来を考えようとする態度を育てる。
- 2 テーマ 「ふるさと雄勝から学ぼう～復興の歩み、歩み続ける雄勝～」
- 3 指導時数 16時間
- 4 指導の流れ

段階	主な学習活動
つかむ	【オリエンテーション①】 東日本大震災と復興について学ぼう 講師：徳水 博志 氏 （一般社団法人雄勝花物語共同代表 石巻教育委員会社会教育委員）
	【オリエンテーション②】 雄勝地区の地形の特徴について知ろう
	【オリエンテーション③】 防災マップづくりについて知ろう
深める	まち歩きの計画を立てる ① まち歩きでめぐる場所を確認する ② インタビューの質問を考える ③ 役割分担をする
	【まち歩きをしよう①】 まち歩き 案内：徳水 博志 氏 （一般社団法人雄勝花物語共同代表 石巻教育委員会 社会教育委員）
	① 危険な場所を調べる ② 安全のための施設を調べる ③ 復興活動に取り組む方々の活動の見学やインタビューをする ④ 地域のために働く活動として、植栽活動に取り組む
	【まち歩きをしよう②】 まち歩きの振り返り
	【深めよう①】 地域の魅力などについて自分で調べたいことを決めて調べる計画を立てる
	【深めよう②】 本やインターネット、インタビューなどで調べる



	【マップづくりをしよう】 これまでに調べたことをカードにまとめる
い か す	【みんなに伝えよう】 学習参観で、家族や地域の方に発表する
	【振り返り】

5 成果

(1) 事前に、山形大学客員研究員の村山良之先生から助言を受けたことで、マップづくりの進め方について見通しを持つことができた。



(2) 今回の学習で、東日本大震災当時雄勝小学校で勤務されていた徳水博志さんに講話をいただいたことで、当時の様子を知ることができた。さらに、津波が高くなる要因となった地形の特徴を話していただいたことで、震災に関する知識を深めることができた。

(3) 「重ねるハザードマップ」を活用し、雄勝地区の津波浸水区域や土砂災害警戒区域、避難場所などを読み取ることができた。本校には学区内に住む児童だけではなく、鹿又地区や河北地区、神奈川県から留学で来ている児童がいる。そのような児童が住む場所の周辺の災害特性についても、「重ねるハザードマップ」を活用して学ぶことで、自分が住む地域の災害特性についての知識をもち、防災意識を高めることができた。



(4) 「重ねるハザードマップ」で読み取った津波浸水区域や土砂災害警戒区域の場所を、まち歩きで実際に見ることで、災害が起きた時のイメージをもつと同時に、災害時に役立つ施設を見付けたり、災害時の避難行動について考えたりすることができた。また、復興活動に取り組む住民の方の活動の様子を見学したり、思いに触れたりすることで、児童は尊敬の念を抱いていた。さらに、自分で調べたいことをさらに探求する時間を設けたことで、地域の魅力についての考えが深まり、地域を大切にしようとする思いが高まっていた。



6 課題

(1) 今年度は東日本大震災当時雄勝小学校に勤務されていた徳水博志さんに御協力いただき、講話やまち歩きの案内をしていただいた。今後はより多くの情報を収集するために、区長や防災士などの地域人材を活用していく必要がある。

(2) 今年度は、雄勝地区の中でも雄勝中央を中心に調べた。次年度以降は、他の地域に広げていく。

(3) 今年度は、津波や土砂災害を中心に調べたが、次年度以降は火災や洪水など、防災の視野を広げて調べていくことで、防災の知識が広がると考えられる。

復興・防災マップの取組

石巻市立石巻中学校

1 ねらい

- (1) 自らが住む地域について進んで知ろうとするとともに、活動を通して学んだことを工夫しながらわかりやすくまとめようとしている。
- (2) 調べたことを他の生徒や地域住民に伝えながら、防災について更に深く学び、防災意識を向上させようとしている。
- (3) 他の生徒や地域の人々と関わる際に、学ぼうとする意欲と相手への敬意をもって接している。

2 テーマ 学区内小学校区（石巻小・山下小・大街道小）ごとの復興・防災マップ

3 指導時数 12時間

4 指導の流れ

(1) 学区内の地形と災害について学ぶ

ウェブサイト「重ねるハザードマップ」を活用し、石巻中学校区の地形がどのようになっているかを学ぶとともに、自然災害のリスクやまたその対策としてどのようなものがあるかを考えた。学習を通して、地形による災害リスクの違いについて学んだり、自然災害の発生のしくみや危険性について理解したりすることができた。また、石巻中学校がある場所は比較的災害のリスクが低いものの、学区内は洪水による浸水被害、津波、土砂災害などによって大きな被害を受ける可能性があることに気づくことができた。



(2) 旧門脇小学校や石巻南浜津波復興祈念公園、MEET門脇の見学や講話

石巻南浜津波復興祈念公園や旧門脇小学校、MEET門脇の見学や係員による講話を通して、東日本大震災時のことや、災害時の対応について学んだ。復興祈念公園及び伝承館の見学では、東日本大震災がどのくらい大きな災害であったかを学んだ。旧門脇小学校の見学では、津波火災によって焼失した校舎の様子や、日本の地震発生の歴史について知ることができた。また、MEET門脇の見学では、津波に対してどのように備えることが



必要かを考えることができた。復興・防災マップの制作に向けて、学区内の過去の災害について知る機会になったとともに、コミュニティ・スクールの防災教育部と連携をして、説明や学習のサポートを行うことができた。



(3) 防災マップを制作する

これまでの防災学習や震災伝承施設の見学を踏まえて、生徒を石巻小学区・山下小学区・大街道小学区の3チームに分けて、防災マップの制作を行った。全校生徒に、中学校区内の危険箇所についてのアンケートをとり、その結果も活用しながら、学区内で災害リスクが高い場所や、避難場所として活用できる場所についてまとめた。地元に住んでいる生徒だからこそわかる、学区内の危険箇所についても復興・防災マップに入れることができ、居住している場所について理解を深める活動とすることができた。



5 成果

- ・事前に東北大学災害科学国際研究所の桜井愛子先生から助言を受けたことによって、マップづくりの進め方について見通しを持つことができた。
- ・防災学習や地域の街歩きなどを通して、学区内の災害リスクについて学び、危険な場所をシールで示したり、当該箇所の写真を撮ったりして、防災マップ作りに生かすことができた。
- ・学区内の震災伝承施設である、「旧門脇小学校」や「石巻南浜津波復興祈念公園」、「MEET門脇」の見学や担当者の講話を通して、東日本大震災時の出来事を知り、今後の防災学習への意欲を高めることができた。
- ・普段の通学の際に危険箇所について考え、自らが住んでいる学区だからこそわかる、細い道や避難できそうな場所などを見つけ、マップにまとめることができた。

6 課題

今年度は教科や総合的な学習の時間に位置付けるのではなく、生徒会活動として有志生徒による活動となった。そのため、復興・防災マップづくりに参加した生徒が少なかつたため、今後はさらに多くの生徒が主体的に参加できる防災教育を推進したい。→来年度は教科等の年間指導計画の中に防災学習を明確に位置付け、今年度の活動を土台として、できるだけ多くの生徒にとって学びのある活動が展開できるようにしていきたい。

